

令和4年度 事業報告

社会福祉法人勝山市社会福祉協議会

令和4年度事業活動の総括

令和4年度も、コロナ感染の拡大は続きました。私達は、ワクチン接種や基本的な予防を徹底しつつ、地域住民が新たな結びつきを作り、いつまでも地域で暮らしていけるための知恵を出し合いながら様々な活動に取り組みました。

令和4年8月4日の豪雨に災害では、8月6日～11日まで災害ボランティアセンターを開設、さらに8月12日～10月31日までは、地域支え合いセンターに移行し、延べ377名のボランティアの方の活動を支え、被災者の支援にあたりました。

また、同時期に発災した南越前町には、職員が交代で支援に入りました。

各地域では、昨年度に引き続き、歩みを止めずに取り組むことを目標に事業を進めました。全地区社協で、「コロナを正しく知り、正しく恐れる。そして地域の活動や人との繋がりを切らさない」ことを目標に、サロン再開の支援の継続、給食サービスのボランティアによる調理の継続を行いました。また、地区によっては、地域の課題を拾い上げ、更には話し合いの場を重ねて、試行的に買い物支援等の事業を実施に結びつけたところもありました。

コロナ感染拡大の影響で、仕事や売り上げの減少など生活がひっ迫している方への相談、援助、貸付けについても昨年に引き続き行いました。また、今年度も昨年度に引き続き、主任児童委員協力の元、支援を必要とするひとり親家庭への食材配布を続けることができました。更に、高校生の協力を得て、子供向けの映画会も実施いたしました。

介護保険、障害サービスについては、昨年度同様災害や感染症が発生しても、継続したサービスが提供できるよう備えをしてきました。職員の感染者発生時にも、限られた職員での訪問を余儀なくされながらも必要なところへの訪問を継続していききました。

決算面では、介護保険サービス利用者の減により、減収となった影響で昨年度から一転赤字決算となりました。

各種サービス事業収入が減少傾向の中であっても地域福祉活動を推進し、福祉サービスを充実させるため、今後も人材の確保、職員の資質向上に更に取り組んでいく必要があると考えます。コロナ禍においても地域は止まることなく進んできました。更に進もうとする地域を支援していくためにも地域で暮らしていくことを中心に地域とつながり、寄り添いながら、今後も事業を進めていきたいと思っております。

法人運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	法人運営事業	法人運営事業	法人運営全般	第1層(全市)
収入(円)	会費	寄附金	事業収入	負担金収入	受取利息
	3,298,000	284,541	0	59,500	531
	雑収入	拠点区分収入	階層区分収入	前期末残	計
	204,664	1,458,630	21,042	3,855,874	9,182,782
支出(円)	人件費	事業費	事務費	その他支出	固定資産
	5,908,294	1,827,765	674,547	0	132,000
	サービス区分間支出	退職積立			計
	110,756	529,420			9,182,782
事業概要	予算・決算・補正予算の決議、法人運営				
事業報告	①毎月収支報告書の提出 ②事業収入の安定化 ③事業経営の透明性の確保				
	理事会	日・出席人数	内容	日・出席人数	内容
		5月31日 理事12・監事2	令和3年度決算・事業報告、 財産目録	12月14日 理事10・監事2	令和4年度補正 予算(第2次)
		6月16日 理事11・監事2	書面協議	12月27日 理事9・監事1	勝山市社会福 祉協議会副会 長選任
		9月13日 理事11・監事2	令和4年度補正 予算(第1次)	3月14日 理事12・監事2	補正予算、令和 5年度予算、事 業計画、経理規 程の一部改正
		日・出席人数	内容	日・出席人数	内容
		6月21日 評議員20 理事11・監事2	令和3年度決算・事業報告、 財産目録	12月27日 評議員17 理事4	令和4年度補正 予算(第2次)・ 理事承認
	9月27日 評議員20 理事4	令和4年度補正 予算(第1次)	3月28日 評議員22 理事5	令和4年度補正 予算(第3次)・ 令和5年度予算	
	役職員研修会:サマーセミナー 令和4年11月10日(木)~11日(金) 21名参加 小規模多機能自治について学ぶ 行先 岡山県新見市 地域共生運営協議会視察 兵庫県川西市「トナリエ清和台」				
	R4振り返り	補助金の新規獲得に努めた。コロナ禍での労務管理など、様々な変更点に対応した			

退職積立金事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	法人運営事業	退職積立金事業	退職積立金事業	第1層(全市)
収入(円)	各階層より	取崩し収入			計
	4,722,420	1,010,220			5,732,640
支出(円)	退職給付支出	退職手当差損	退職給付預け金		計
	981,890	28,330	4,722,420		5,732,640
事業概要	全国社会福祉協議会が運営する退職積立基金事業と契約加入し、退職金として積み立てている				
事業報告	<p>全社協へ、退職金掛金を納付 総額 4,722,420円</p> <p>退職給付積立基金預け金 60,002,650円 退職給付引当金 69,280,930円</p> <p>1名退職</p>				
R4振り返り	令和4年度、新規1名分増 1名減				

社会福祉事業基金運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
		法人運営事業	法人運営事業	社会福祉事業基金運営事業	社会福祉事業基金運営
収入(円)	寄附金	受取利息	前期末残		計
	31,032	20,028	14		51,074
支出(円)	社・基金積立金	法人運営事業へ			計
	31,032	20,042			51,074
事業概要	社会福祉事業寄附金の受け入れ、基金の管理・運用				
事業報告	社会福祉事業基金 受入れ 5件 31,032円 合計 202,937,363円				
R4振り返り	定期預金にて基金を管理しているが、利息が低く事業に活用できる状況ではない。基金の検討委員会はコロナ禍で思うように開催することができなかつたため、次年度に引き継ぐこととする				

ボランティア基金運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
		法人運営事業	法人運営事業	ボランティア基金運営事業	ボランティア基金運営
収入(円)	受取利息				計
	1,867				1,867
支出(円)	法人運営事業へ	当期資金収支差額			計
	1,000	867			1,867
事業概要	ボランティア基金寄附金の受け入れ、基金の管理・運用				
事業報告	ボランティア基金 受入れ 0件 0円 合計 8,725,201円				
R4振り返り	現在寄附金は、ボランティア基金ではなく、社会福祉事業基金での受け入れを優先している				

地区社協活動事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	地区社協活動事業	地区社協事業	第3層(地区社協)
収入(円)	市補助金				計
	4,620,000				4,620,000
支出(円)	人件費	事業費	助成金		計
	154,000	51,000	4,415,000		4,620,000
事業概要	<p>住み慣れた地域でいつまでも暮らすことを目的に、小地域での身近な福祉活動拠点としての役割を持ち、きめ細かな福祉を展開する</p>				
事業報告	<p>・地区社協コーディネーター会議 年間12回実施 コーディネーター会議の地区持ち回り制を導入</p>			<p>コーディネーター紹介(敬称略)</p>	
	開催日	開催担当地区	開催場所		
	4月4日	市社協	喫茶クイーン	勝山:阿部	勝山:大道
	5月9日	鹿谷	喫茶そら		
	6月6日	北郷	木下家	北谷:小林	遅羽:牧野
	7月4日	荒土	まちづくり会館		
	8月1日	遅羽	縄文の里	猪野瀬:水谷	村岡:花田
	9月5日	勝山	花月楼		
	10月3日	野向	まちづくり会館	平泉寺:栃木	荒土:谷口
	11月10日	新見市	ホテルルートイン		
	12月5日	村岡	まちづくり会館	北郷:松川	野向:滝本
	1月10日	市社協	まちなかCafé		鹿谷:宇佐美
	2月6日	猪野瀬	まちづくり会館	<p>・地域個別支援回数…246回</p>	
	3月6日	市社協	すこやかホール		
	R4振り返り	<p>地域個別支援では、各地域の事情や環境に合わせて研修会等の企画、運営支援や、地域での困りごと対応、また、地域課題への対応等もコーディネータと共に考え、事業を行った。地域課題は様々で、必ずしも横並びにならないことの共通認識、共通理解を個別支援やコーディネーター会議を通して共有することができた。コーディネーター会議は単なる事務連絡のみにとどまらず、各コーディネーターが直面している課題や、問題、疑問などに対しても皆で話し合いが持てるよう努めた。</p>			

給食サービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲																																																						
	法人運営事業	地域福祉推進事業	給食サービス事業	給食サービス	第3層(地区社協)																																																						
収入(円)	市受託金	利用者負担金			計																																																						
	2,872,170	1,139,750			4,011,920																																																						
支出(円)	人件費	事業費	助成金		計																																																						
	840,000	710,060	2,461,860		4,011,920																																																						
事業概要	65歳以上の①一人暮らし②高齢者のみの世帯③高齢者と障害者のみの世帯で調理が困難で見守りが必要な人に対し、各地区社協ごとに給食サービスを提供する																																																										
事業報告	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>勝山</th> <th>猪野瀬</th> <th>平泉寺</th> <th>村岡</th> <th>野向</th> <th>荒土</th> <th>北郷</th> <th>鹿谷</th> <th>遅羽</th> <th>北谷</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者数</td> <td>153</td> <td>9</td> <td>13</td> <td>37</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>3</td> <td>12</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>268</td> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>48</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>22</td> <td>24</td> <td>18</td> <td>256</td> </tr> <tr> <td>配食数</td> <td>2,619</td> <td>178</td> <td>218</td> <td>572</td> <td>315</td> <td>244</td> <td>50</td> <td>146</td> <td>105</td> <td>112</td> <td>4,559</td> </tr> </tbody> </table>											地区	勝山	猪野瀬	平泉寺	村岡	野向	荒土	北郷	鹿谷	遅羽	北谷	合計	登録者数	153	9	13	37	15	12	3	12	7	7	268	回数	48	24	24	24	24	24	24	22	24	18	256	配食数	2,619	178	218	572	315	244	50	146	105	112	4,559
	地区	勝山	猪野瀬	平泉寺	村岡	野向	荒土	北郷	鹿谷	遅羽	北谷	合計																																															
	登録者数	153	9	13	37	15	12	3	12	7	7	268																																															
	回数	48	24	24	24	24	24	24	22	24	18	256																																															
	配食数	2,619	178	218	572	315	244	50	146	105	112	4,559																																															
<ul style="list-style-type: none"> ・合計4,559食の配食を行った。弁当を配達することにより安否確認を行った。 																																																											
[手作り弁当再開に向けての動き]																																																											
<ul style="list-style-type: none"> ・6/3「給食サービス関係者衛生講習会」開催 55名参加 ・地域によっては、業者弁当を選択した地域もあった。 																																																											
R4振り返り	<p>感染症対策を講じながら、ボランティアによる手作り弁当ができた。地区によっては手作りではなく業者弁当のところもあった。 市社協主催の「衛生講習会」を開催。</p> <p>再開したことで利用希望者が増えてきたが、食数が増えるごとにボランティアから「対応が厳しい」という声あり。</p>																																																										

地域福祉救援活動事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲																																											
	法人運営事業	地域福祉推進事業	福祉救援活動事業	福祉救援活動事業	第1層(全市)																																											
収入(円)	県共募補助金	共同募金	負担金収入	雑収入	サービス区分収入																																											
	1,000,000	1,659,000	516,758	41,850	60,000																																											
					計																																											
					3,277,608																																											
支出(円)	人件費	事業費	事務費	固定資産費	当期資金収支差額																																											
	95,000	2,630,687	242,710	224,400	84,811																																											
					計																																											
					3,277,608																																											
事業概要	災害に備えた物資の準備並びに研修への参加。また、災害発生時は災害対応のための資金調達や災害ボランティアセンターの立上げ・運営、さらには職員を現地に派遣する等を行う																																															
事業報告	<p>●勝山市災害ボランティアセンター連絡会 ・勝山市災害ボランティアセンター連絡会 9/22</p> <p>●研修会の開催 ・地区社協からの要望に応じて、福井県防災士会、にいがた災害ボランティアネットワーク理事長に講師を依頼し、研修を行った ・勝山市と合同、社協役職員・勝山市地域防災組織連絡会を対象とした講演会を開催。3/15</p> <p>●被災地派遣:南越前町(8/14~8/28)</p> <p>●福井県総合防災訓練 10/8 ジオアリーナにて</p> <p>●福井県社会福祉協議会にて、令和4年8月豪雨における活動報告 11/7</p> <p>●福井市災害ボランティアセンター連絡会にて、令和4年8月豪雨における活動報告 3/7</p> <p>●南越前町と合同研修 11/18</p> <p>●可児市災害ボランティア研修会にて活動報告 11/26</p> <p>●令和4年8月豪雨 被災(8/4) 8/5 勝山市災害対策本部会議に参画、災害ボランティアセンター設置要請を受ける。 8/5~災害ボランティアセンター開設、8:30~14:30 2時間ずつ3班体制で現地へ。(~11日) 8/12~10/31 勝山市地域支え合いセンター開設。被災後の相談支援を行う。 * 災害ボランティアセンター設置に伴い、県共同募金会より活動拠点支援金の助成を受ける。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="6">災害ボランティアセンター</th> <th colspan="4">支え合いセンター</th> </tr> <tr> <th>8月6日</th> <th>8月7日</th> <th>8月8日</th> <th>8月9日</th> <th>8月10日</th> <th>8月11日</th> <th>8月12日</th> <th>8月13日</th> <th colspan="2">8月15日~10月31日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動先延べ件数</td> <td>7</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>1</td> <td colspan="2">市保健師と訪問</td> </tr> <tr> <td>活動先延べ人数</td> <td>33</td> <td>50</td> <td>48</td> <td>72</td> <td>55</td> <td>83</td> <td>31</td> <td>5</td> <td colspan="2">健康チェック、聞き取り等</td> </tr> </tbody> </table> <p>●「災害時における相互協力に関する協定締結」 ・勝山ライオンズクラブ、勝山市、勝山市社会福祉協議会と「災害時における相互協力に関する協定」の締結 5/10 ・勝山青年会議所(JC)、勝山市、勝山市社会福祉協議会と「災害時における相互協力に関する協定」の締結(毎年)</p>						災害ボランティアセンター						支え合いセンター				8月6日	8月7日	8月8日	8月9日	8月10日	8月11日	8月12日	8月13日	8月15日~10月31日		活動先延べ件数	7	13	15	16	15	16	6	1	市保健師と訪問		活動先延べ人数	33	50	48	72	55	83	31	5	健康チェック、聞き取り等	
	災害ボランティアセンター						支え合いセンター																																									
	8月6日	8月7日	8月8日	8月9日	8月10日	8月11日	8月12日	8月13日	8月15日~10月31日																																							
活動先延べ件数	7	13	15	16	15	16	6	1	市保健師と訪問																																							
活動先延べ人数	33	50	48	72	55	83	31	5	健康チェック、聞き取り等																																							
R4振り返り	<p>令和3年度に青年会議所(毎年締結)、令和4年度にはライオンズクラブと協定を結んだ矢先の「令和4年8月豪雨」。コロナ禍で研修や設置運営訓練等の実施ができてなかったが、福井県防災士会、構成団体・協力団体、近隣社協協力のもと運営。熱中症などの事故なく閉所できた。 この被災を受け、各地区社協で研修会を開催。災害時における対策や人とのつながりの大切さを学んだ。</p>																																															

住民参加型在宅福祉サービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	住民参加型在宅福祉サービス	住民参加型在宅福祉サービス和美さん	第1層(全市)
収入(円)	事業収入	前期末残			計
	22,400	21,879			44,279
支出(円)	事業費	当期末支払資金残			計
	44,279				44,279
事業概要	住民の相互扶助を推進することを目的に、サービスを有料制で行い、在宅福祉の増進を図る				
実績報告	協力会員	1人	派遣延件数	37件	
	利用会員	3人	実働時間	47時間(送迎、入院時洗濯等)	
R4振り返り	一人暮らしの方の入院による洗濯依頼、障害児福祉サービスへの送迎依頼が主な中身であった。 介護保険制度に至らない方の家事依頼等の問い合わせがあるが、協力会員不足により希望に添えない。				

地域ふれあいサロン事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	地域ふれあいサロン事業	地域ふれあいサロン事業	第3層(地区社協)
収入(円)	市受託金				計
	4,704,200				4,704,200
支出(円)	人件費	事業費	助成金	返還金	計
	430,000	316,700	3,095,500	862,000	4,704,200
事業概要	高齢者の生きがいや社会参加、健康づくり、閉じこもり防止を目的に集まれる場所の提供				
事業報告	各地区サロン実績				
		地区名	年回数(R4)	高齢者数(人)	年回数(R3)
	★	勝山	107回	2,817	48回
	★	猪野瀬	55回	1,109	90回
	★	平泉寺	34回	558	27回
		遅羽	73回	557	71回
		村岡	81回	1,605	79回
		北谷	1回	11	1回
		野向	32回	469	28回
		荒土	72回	976	75回
		北郷	108回	1,201	99回
		鹿谷	26回	525	28回
		助成金なし	30回	602	14回
		合計	619回	10,430	560回
	<ul style="list-style-type: none"> ・★は助成金なしのサロンを実施した地区 ・口腔ケア講座、レクリエーション講座(謝金は市社協負担)を各地区1回ずつ開催 				
R4振り返り	<p>コロナ禍3年目で、新型コロナウイルス感染症対策を講じて従来通りのサロン活動を実施した。できたところと、できなかったところの地域間の違いが見られたが、徐々に活動が活発化してきていると感じる。</p>				

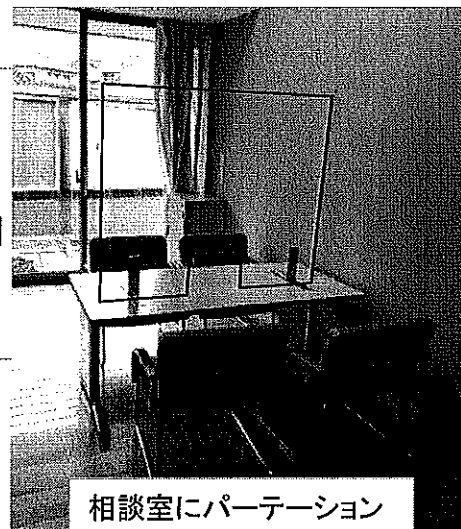
日常生活自立支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	日常生活自立支援事業	日常生活自立支援事業	第1層(全市)
収入(円)	県社協受託金	利用料収入	貸金庫利用料	前期末残	計
	7,914,000	1,118,400	6,000	36,668	9,075,068
支出(円)	人件費	事業費	事務費	固定資産	退職積立金
	8,437,381	364,368	23,319	0	250,000
					計
					9,075,068
事業概要	自立して地域で生活が送れるよう、福祉サービス利用、日常的な金銭管理などを支援				
事業報告	<p>●相談件数等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 延890件 (R3 1052件) ・契約件数 5件[認知症等3件、知的2件] (R3 14件) ・成年後見制度への移行数 2件(R3 2件) ・総契約数 78件[認知症等30件、知的25件、精神9件、その他14件] (R3 88件) <p>●広報・啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協からこんにちは(広報紙)に事業説明を掲載 勝山市民(8,000部) ・ちち☆ははサポートクラブ(スクラム福井より講師依頼あり) 令和4年11月17日(木) 大野市結とぴあ参加者11名 事業説明やお金の使い方について講習会を開催 <p>●生活支援員研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度福祉サービス利用援助事業 生活支援員研修会 令和4年11月18日(金) ジオアリーナ・14名 成年後見人制度と日常生活自立支援事業の内容、 二つの制度の違いについて改めて説明 令和5年3月23日(木) すこやか・12名【オンデマンド動画講座】 知的・精神障がい者の特性、対処方法 福井県立大学 学術教養センター 教授 清水 聡 氏 <p>●関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥越自立支援協議会 生活・居住支援部会 1回 令和4年6月9日(木) 大野市結とぴあ ・利用者別会議、モニタリング参加 				
R4振り返り	<p>一人暮らしで地域の関わりが薄く孤立して生活をしている人が増加していると感じた。借地で持ち家の利用者が亡くなれば空き家問題が増加している。自分で将来を見据えた生活設計(収支計画等)の理解が難しく、将来的に地域での生活が難しくなる可能性がある利用者に、今のうちから備えていけるように支援していく必要性を感じた。判断能力がなくなった場合は、関係機関と連携をとり本人にふさわしいサービス(成年後見制度等)につなぐ必要を感じた。独居や家族関係の希薄により、家族や親族を頼ることができない方が多くなっており、サービスを越えた地域支え合いの仕組みづくりや関係機関との連携が必要と感じた。</p>				



福祉総合相談事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	福祉総合相談事業	福祉総合相談事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	1,500,000				1,500,000
支出(円)	人件費	事業費			計
	250,000	1,250,000			1,500,000
事業概要	法律、労働、年金の専門相談を実施。一般相談は職員が随時対応し、専門機関につなげる				
事業報告	<p>●年金労務相談11件(前年度 9件)</p> <p>【毎月第1水曜日9:00～13:00 年間12回開催】</p>				
	<p>●法律相談105件(前年度 119件)</p> <p>【毎月第2水曜日(13:30～16:30)第4水曜日(9:00～13:00) 年間24回開催】</p>				
	<p>●心配ごと相談21件(前年度 21件)</p> <p>【月～金曜日平時の相談については職員が対応】</p>				
	<p>●夜間相談0件(前年度 0件)</p> <p>【毎週水曜日18:00～20:00(要予約)】</p>				
R4振り返り	<p>心配ごと相談は常時職員が対応した。小口資金の貸し付け相談もあった。金銭的な相談だけではなく、生活や家族などの多問題相談が多く見られた</p>				



相談室にパーテーション
を設置しました

家族介護支援事業

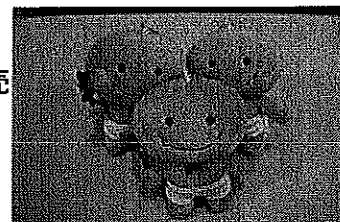
予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	家族介護支援事業	家族介護支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	16,200				16,200
支出(円)	人件費				計
	16,200				16,200
事業概要	介護の専門家を対象家庭に派遣し、介護の方法の指導や相談を行う				
事業報告	<p>●依頼回数 3回</p> <p>●内容</p> <p>移動介助、室温調整、食事作り、排せつ介助、食事介助方法、着替え、ベッドの高さの ことについて(食事介助の際の高さ、姿勢、また体位を整えることを伝える)腰痛予 防の介護の方法について</p>				
R4振り返り	<p>この事業を利用し、訪問サービスにつながったケースや訪問サービスの利用を開始し てから支援事業につなげたケースもあった。</p> <p>また、“介護”に対し不安から自信に変わった方、介護することに対し「無理はしなくて いいんですね」と、穏やかに介護に向き合うことができた方などがおられた。</p> <p>力任せに介護している方が多く、腰痛を予防できる介護の方法を伝え、また、ベッドの 高さの調節の方法を伝える。</p>				

訪問型サービスA事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	訪問型サービスA事業	訪問型サービスA事業	第1層(全市)
収入(円)	介護保険事業	利用料			計
	58,194	6,466			64,660
支出(円)	人件費	事業費	当期資金収支差額		計
	50,000	13,175	1,485		64,660
事業概要	介護認定の対象とならないが、勝山市が家事の一部援助が必要と認めた方への必要な家事支援				
事業報告	軽度な家事援助(買い物・掃除)を訪問介護員が行った				
		令和4年度	令和3年度	令和2年度	
	利用延べ人数	12名	12名	14名	
	延べ訪問回数	53回	51回	57回	
R4振り返り	コロナ禍で、感染予防に努めながら訪問を実施した				

ボランティアセンター運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	ボランティア活動事業	ボランティアセンター運営事業	ボランティアセンター事業	第1層(全市)
収入(円)	チャリティ映画収入	受取利息	雑収入		計
	158,968	20	45,250		204,238
支出(円)	事業費	当期資金収支差額			計
	10,835	193,403			204,238
事業概要	ボランティアセンター運営委員会の運営。企画・広報部会の開催。ボランティア活動団体、個人を活動先とマッチングする。依頼・活動相談、保険の窓口となる。また、ボランティア育成のための研修を実施する				
事業報告	<p>●ボランティアセンター運営委員会 6回(内、全体会3回、企画部会1回、広報部会2回) ・勝山ボランティアセンター広報活動 ①ココドストラップ【500個作成、残298個】1コ1,000円で販売 ②ココドンクリアファイル【2000枚作成、残150枚】1枚100円で販売 ③ココドンLINEスタンプ【1セット(40個)】120円で販売 ④ココドンスタンプ作成(6種類)各小中学校にも活用してもらう ⑤ココドンシール【5000枚作成、残3626枚】2枚1組100円で販売 ⑥ココドン付箋【1000個作成、残575個】100円で販売 ・市民啓発推進事業 年6回「社協からこんにちは」紙上に情報掲載 ・すこやかフェスタ出店10/29(土)(ココドングッズ販売・収集物品受付) ストラップ ・年の市出店1/29(日)(ココドングッズ・ココドンパン・チャリティー映画会チケット販売)</p> <p>●災害ボランティアセンター連絡会 災害ボランティアセンター設置運営訓練 10/8(土)5名参加</p> <p>●福祉学習交流会→新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度に引き続き書面交流会という形をとり、市内の小学4年生と障害がある方がスイミーのモザイクアートに取り組むことでお互いを知り、理解する機会とした。また、制作を通じて他者との繋がりを感じ、共に生きる力を感じてもらうことを目的とした。</p> <p>●ボランティア研修会 『見守り活動を通じた地域活動(ボランティア活動)』→3/18(土)34名・スタッフ73名参加 福井大学国際地域学部准教授田中志敬先生を講師に、見守り活動に関する講義と子供の安心安全ワークショップを行った。講義の中では、R4年度新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティア研修会を中止した際の代替えで、ボランティア登録者に実施した「社会参加状況に関するアンケート」の結果を分析した内容が含まれていた。ワークショップでは、地区ごとに地図上で危険箇所を出し合い、参加者同士活発な意見交換が行われていた。</p> <p>●収集活動 [エコキャップ]福井テレビへ運搬 年5回 運搬数約394,955個(ワクチン約459名分) [使用済みカラープリンターインク]買い取り業者へ輸送した [ベルマーク]ベルマークを収集している学校へ寄贈した [使用済み切手、使用済みテレホンカード、未使用文房具]市社協窓口で回収し、誕生日ありがとう運動本部へ輸送した</p> <p>●ボランティア団体交流会 12/9(金)に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。</p> <p>●第37回チャリティー映画会「日日是好日」3/11上映 <入場者数> 午前の部227名、午後の部236名、夕方の部51名 計513名</p>				
R4振り返り	3年ぶりにすこやかフェスタと年の市が開催され、勝山ボランティアセンターのブースを出店し、ココドングッズを通して来場者にセンターの周知ができた。令和3年度にボランティアを対象にアンケートを行った結果をまとめた冊子を作成した。その取りまとめた内容を元にボランティア研修会で講師にボランティアの現状やこれからの活動について講義をしていただき、アンケートを活用した。				

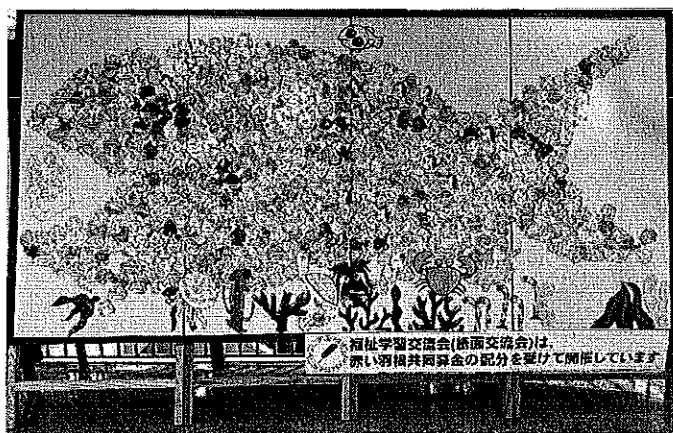


預託配分事業

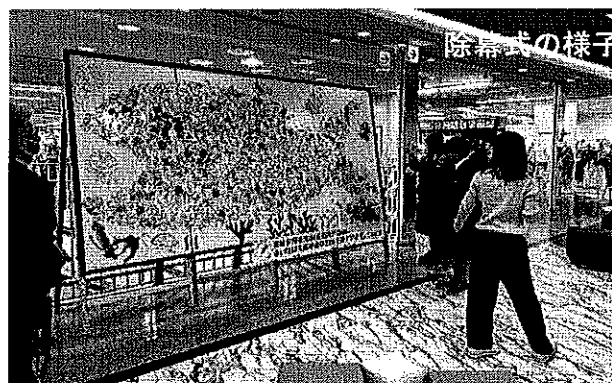
予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	ボランティア活動事業	ボランティアセンター運営事業	預託配分事業	第1層(全市)
収入(円)	寄附金	利息分			計
	167,964				167,964
支出(円)	助成金	当期収支差額			計
	25,000	142,964			167,964
事業概要	市民からの寄付金・物品の受入、払い出し。市内で火災が発生した際に見舞金を払い出す				
事業報告	<p>●物品【預託】56件(介護用紙おむつ、パット、下着、衣類、マスク、洗剤、米、フェイスタオル、食料品、日用品、押し車、布団、赤ちゃんのおむつ、離乳食、文房具等)</p> <p>●災害ボランティア【預託】10件(古タオル、マスク、高圧洗浄機3台、飲料、バスタオル、ゴム手袋、すいか、熱中症予防タオル・保冷剤)</p> <p>●金品【預託】2件 7,000円(勝山市燃料チケット)</p> <p>●物品【払い出し先】52件(介護保険事業所、ヘルパー事業所、介護保険施設、生活困窮者、生活保護受給者、子育て支援センター等)</p> <p>●災害ボランティア【払い出し先】10件(災害ボランティアセンター、災害ボランティア活動者、被災者等)</p> <p>●金銭預託(ボランティア運営事業へ) 1件 166,964円</p> <p>●火事見舞金 3件 25,000円</p> <p>●次年度繰越金 繰越金2,381,011円+今年度預託金166,964円= 2,522,975円</p>				
R4振り返り	夏の豪雨災害の時にたくさんの寄付をいただき、災害ボランティアセンターで役立たせていただいた。その他通常の寄付物品もたくさんいただき、必要な方に払い出しした。				

つながりの輪づくり推進支援事業

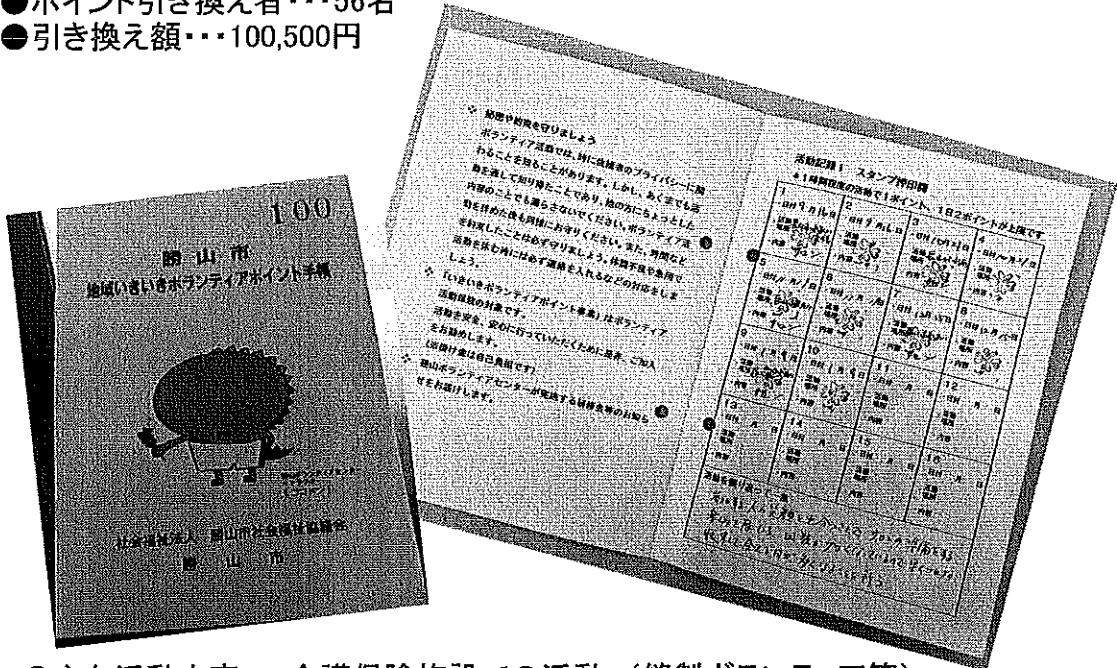
予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	ボランティア活動事業	つながりの輪づくり推進事業	すこやかフェスタ	第1層(全市)
収入(円)	県社協受託金				計
	97,000				97,000
支出(円)	事業費				計
	97,000				97,000
事業概要	ボランティアセンター運営委員会を中心につながりづくりを推進する。				
事業報告	<p>・ボランティア運営委員会 企画部会で内容を検討した 部会開催 1回</p> <p>・昨年に引き続き、紙面交流会として、市内の小学4年生と障害がある方が巨大モザイクアートに取り組んだ。楽しみながらお互いを知り、理解する機会となるようにした。</p> <p>[制作方法]</p> <p>①市内全小学校、障害者就労支援事業所等にA5サイズのぬり絵を配布し、各自で塗っていただいた。</p> <p>②ボランティアセンターがぬり絵を回収し、サンプラザ2階を会場に、勝山高校生協力のもと582匹の作品を組み合わせて1つの大きなモザイクアートを作り上げた。</p> <p>③3/22 サンプラザ2階センターコートにて、除幕式を開催。その際には制作風景を映像で流した。作品は一定期間展示し、一般開放した。</p> <p>・R3年度に行った「社会参加状況に関するアンケート」の結果を集計し、冊子にまとめた。その内容をもとに、3月に開催したボランティア研修会の講義にて一部活用された。</p>				
R4振り返り	<p>昨年に引き続き、紙面交流会として福祉学習交流会を開催することができた。次年度は、コロナ禍前の対面型の交流会に戻して交流ができるよう検討したい。</p>				



スミエモザイクアート 作品全体



地域いきいきボランティアポイント事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	ボランティア活動事業	地域いきいき ボランティアポイント事業	地域いきいき ボランティアポイント事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	1,512,500				1,512,500
支出(円)	人件費	事業費	助成金		計
	1,250,000	162,000	100,500		1,512,500
事業概要	高齢者の社会参加や生きがいづくりを促進するために、高齢者に関するボランティア活動をポイント制にし、集まったポイントを商品券などに換金する				
事業報告	<p>●参加登録者数…男性/15名 女性/58名 合計/73名 ●ポイント引き換え者…56名 ●引き換え額…100,500円</p>  <p>●主な活動内容…介護保険施設での活動（縫製ボランティア等） 各地区サロンでの活動（企画、運営、話し相手等） 認知症カフェでの活動（サンプラザ内：まちなかcafe等） 近所や地区での活動（ゴミ出し等） 買い物支援</p>				
R4振り返り	<p>本事業は、高齢者に対する活動に限定されていることもあり、コロナ禍前は介護保険施設での活動が多かった。しかし、コロナ禍により介護保険施設に行けなくなった事もあり、施設だけでなく自分の住む地域で幅広い世代へのボランティア活動でポイントを貯められるような形にならないか、行政に要望を出していく必要がある。</p>				

福祉育成・援助活動事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	福祉育成 援助活動事業	すこやかフェスタ	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	前期末残			計
	1,033,000	422,515			1,455,515
支出(円)	事業費	助成金	固定資産	前期末残	計
	1,213,515		242,000		1,455,515

事業概要 主にすこやかフェスタを開催

●すこやかフェスタ開催事業 令和4年10月29日(土)ジオアリーナで開催

地域・団体・住民自組織等が連携を深め「人と人がつながる元気の出るまちづくり」を目指して開催。今年度は新型コロナウイルスの感染を考慮し、より安心して来場、楽しんでいただけるよう会場をジオアリーナに変更し飲食物はテイクアウトのみ。模擬店やフリーマーケット、体験展示を中心に時間を短縮し開催した。

午前:勝山高校日本文化部 公演

●「かつやまこども”WAKU-WAKU”映画祭の開催」

小中学生向けにワクワクするイベントを開催するために、実行委員会を設置し、企画・運営を進めた。市内小中学生を対象とし、映画「ミニオンズ フィーバー」を上映した。食育グッズを渡し、子ども見守り宅食支援事業と併せて実施した。

事業報告



かつやまこども”WAKU-WAKU”映画祭

『ミニオンズ フィーバー』

日時: 令和5年3月18日(土)

場所: 勝山市市民会館大ホール

●上映日

	児童	付き添い	計
申込数	83	33	116
当日参加人数	74	32	106

*食育グッズ(調理器具・食材)を渡す。

*小学5年生~中学生に向けてR5年活動してくれるワクワクレンジャーを募集した。

●実行委員 11名

・実行委員会 2回開催(12/20,3/13)

*高校生4名も参加しワクワクレンジャーとして活躍した。



受付・くじ引きの時の様子



上映後、食育グッズ渡している様子

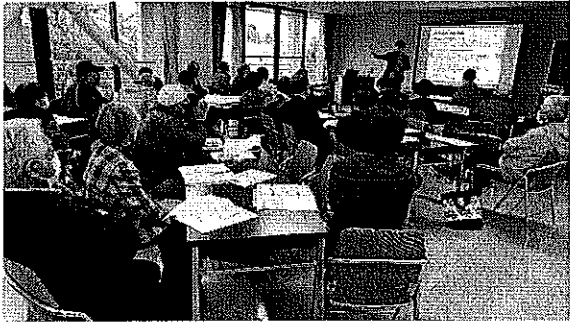

R4振り返り

3年ぶりのすこやかフェスタ開催。今年度は安全面を考慮し、ジオアリーナに場所を変更。それでも多くの来場者で、当日は大盛況で終わることができました。映画祭ではグーグルフォームを活用して申し込みを行った。申し込み完了について不安の連絡が入ることがあったため、来年度開催の際には申し込み受付がわかるようにしていきたい。

歳末たすけあい配分金事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	歳末たすけあい配分金事業	歳末たすけあい配分金事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金				計
	2,013,485				2,013,485
支出(円)	事業費	配分金事業	当期資金収支差額		計
	159,279	1,630,000	224,206		2,013,485
事業概要	民生委員に要援護世帯調査を依頼、準要保護世帯については教育委員会に協力を要請を行い、対象となる援護を要する世帯から申請をもらい、個別配分の可否を委員会で審査、可世帯に対し個別配分を行う。その他の配分先は、「歳末たすけあい配分委員会」で検討、決定される				
事業報告	配分委員会【1回目】10月24日【2回目】11月28日				
		対象者	人数	金額	備考
	個別配分	要援護世帯	138世帯	1,380,000	@10,000
		遺児	10名	50,000	図書券@5,000
		低所得者等支援		30,000	生活困窮者等食糧備蓄
		災害見舞金	40世帯	200,000	@5,000
	事業費配分	貸出機器管理・用品費		150,000	貸出機器修理費・付属品の購入等
		事務経費及び予備費・広告等		210,000	切手・封筒購入、事務用品費等
		合計		2,020,000	
	R4振り返り	<p>個別配分は要援護世帯1世帯につき10,000円を配布することができた。R4年度は8月の豪雨災害で被災された世帯に災害見舞金として5,000円の配布が決定し、配分委員などが直接訪問しお渡しした。訪問時に現在の様子をお伺いすることができたが、復興にはまだまだ時間がかかるとあらためて感じた。</p> <p>個別配分は申請式だが、個人情報聞き出しにくい時代となり、十分な聞き取りができない結果、個別配分の必要性が審査委員会では検討しづらくなっている。</p>			

ボランティア活動育成事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	ボランティア活動育成事業	ボランティア活動育成事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金				計
	229,000				229,000
支出(円)	事業費	助成金	当期資金収支差額		計
	77,526	50,000	101,474		229,000
事業概要	ボランティアセンター事業の一環。ボランティア活動者(登録者)等を対象にボランティア活動や地域の貢献について、学びの場の提供				
事業報告	<p>●ボランティア研修会 『見守り活動を通じた地域活動(ボランティア活動)』→3/18(土)34名参加 福井大学国際地域学部准教授田中志敬先生を講師に、見守り活動に関する講義と子供の安心安全ワークショップを行った。講義の中では、R4年度新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティア研修会を中止した際の代替えで、ボランティア登録者に実施した「社会参加状況に関するアンケート」の結果を分析した内容が含まれていた。ワークショップでは、地区ごとに地図上で危険箇所を出し合い、参加者同士活発な意見交換が行われていた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>●ボランティア団体交流会 12/9(金)に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。</p> <p>●福祉教育担当教諭連絡会 小学校10、中学校3 それぞれ個別訪問し、福祉教育の取り組み、助成金の案内を行った。</p> <p>●福祉教育担当教諭研修会 昨年度に引き続き、集合型の研修は中止し、福祉教育担当教諭に1年間の福祉教育を振り返るため、アンケートを実施した。アンケート結果は、次年度各学校個別訪問の際に資料としてお渡しし、活用していただく。</p>				
R4振り返り	<p>ボランティア団体交流会は、開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。ボランティア団体のメンバーも高齢化しており、団体活動の継続が難しい所も出てきている様子だった。</p> <p>ボランティア研修会では、見守り隊に焦点を当てた内容にした。危ない箇所などを地図上で確認する事ができ、参加者からも「実際活動している人と意見交換が出来てよかった」という声があった。</p> <p>福祉教育は、昨年に引き続き年度始めに各学校に訪問し、担当教諭と打ち合わせを行い、各学校に合わせた福祉教育を取り組むことができた。年度終わりに、福祉教育担当教諭向けに1年の振り返りアンケートを行い、先生方からも個別訪問型が良いとの回答が多かったので、次年度も引き続き個別に訪問を進めていきたい。</p>				

法外・災害援護配分金事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	法外・災害援護配分金事業	法外・災害援護配分金事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金				計
	40,000				40,000
支出(円)	助成金				計
	40,000				40,000
事業概要	行路者・火災被災者へ、見舞金等を渡す				
事業報告	<ul style="list-style-type: none"> ●行路者援助(来所する行路者に対し、電車賃・バス代程度を渡す):0件 ●火災見舞(市内の火災被災者に対する見舞金):0件 				
R3振り返り	今期、実績なし				

まちなかCafé事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	まちなかCafé 運営事業	まちなかCafé 運営事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	前期末残			計
	506,000	441,335			947,335
支出(円)	人件費	事業費			計
	384,000	563,335			947,335

事業概要
社会的孤立感の解消及び誰もが気軽に立ち寄れる場所として、勝山サンプラザ内に居場所を設置し、運営する。また、社会福祉法人が実施する地域貢献事業としても位置付ける

・まちなかcafé運営委員会の開催 2/27

・まちなかcafé床改修工事 3/17～18

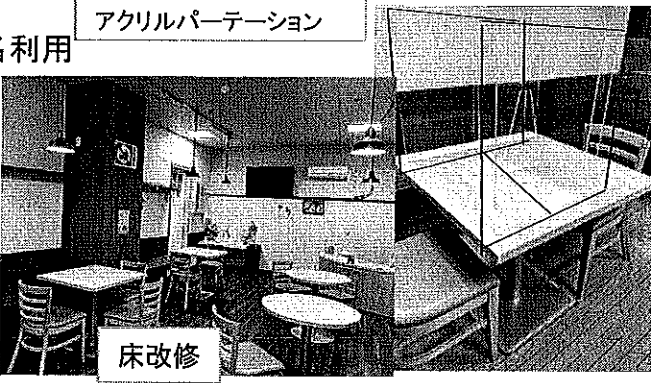
令和4和年度 まちなかCafé利用者数


	月	日数	総計	男性	女性	子供	高校生	中学生
1	4月	22	315	137	177	1	0	0
2	5月	21	257	129	128	0	0	0
3	6月	22	245	105	140	0	0	0
4	7月	22	224	87	137	0	0	0
5	8月	22	215	80	133	2	0	0
6	9月	22	279	116	162	1	0	0
7	10月	21	242	111	128	0	0	3
8	11月	21	263	119	142	2	0	0
9	12月	20	277	98	179	0	0	0
10	1月	20	311	102	209	0	0	0
11	2月	20	378	121	255	2	0	0
12	3月	21	418	151	267	0	0	0
			総計	男性	女性	子供	高校生	中学生
1ヶ月 平均	285.3	254	3,424	1,356	2,057	8	0	3

・年間254日開店 延べ3,424名利用

・ボランティア活動者 5名
延べ活動回数 174回

アクリルパーテーション

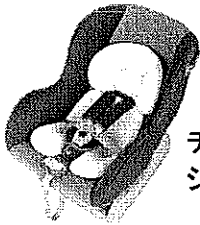








床改修

R4振り返り
コロナ禍でも、飲食の禁止、アクリルパーテーションを設置するなどの感染対策を講じながら運営し続け、昨年度に比べ利用者数も増えた。運営委員参加法人が共同で出資し、床の改修を行ったことで、部屋の雰囲気も明るくなった。来年度には、飲食可能とするため、より住民が気軽に立ち寄れる居場所として活躍が期待できる。

貸出事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分金事業	貸出事業	貸出事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	負担金			計
	283,000	50,100			333,100
支出(円)	事業費	事務費	当期資金収支差額		計
	117,365	7,200	208,535		333,100
事業概要	車椅子対応の福祉車両の貸出、福祉用具、介護機器の貸し出しサービス				
事業報告	<p>●乳幼児用品貸し出し事業 チャイルドシート(7件)ジュニアシート(5件)ベビーカー(3件)貸出 (昨年度 チャイルドシート(6件)ジュニアシート(5件)ベビーカー(0件)貸出)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>チャイルドシート</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ジュニアシート</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ベビーカー</p> </div> </div> <p>●リフト付き車両貸出事業 軽自動車(タント)28件 ワゴン車(ハイエース)27件 合計55件 ・介護機器貸し出し事業 (新規貸出分のみ) <物品貸し出し> 車椅子34件 <保有台数> ベッド20台(貸し出し中) 車椅子53台(貸し出し中 24台) 松葉杖 1 <廃棄・処分台数> ベッド 10台 ベッドマット 18枚</p> <p>●在宅障害者「ふれあいの部屋」開催時送迎支援 ●中途障害者 リラの会 11回開催 (14回開催予定の所、台風等で3回は開催を見合わせた)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>				
	R4振り返り	<p>令和4年度からは、ベッドの新規貸し出しは中止。現在、貸し出し中のベッドに関する取り扱いについては検討案件。介護機器の廃棄に関しても、産業廃棄物扱いになるため、廃棄費用が高額になるとのことで、検討課題になっている。</p>			

福祉教育推進事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分金事業	福祉教育推進事業	福祉教育推進事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	県社協受託金			計
	761,588	150,000			911,588
支出(円)	事業費	事務費	助成金	当期資金収支差額	計
	183,739	10,000	390,000	327,849	911,588
事業概要	赤い羽根共同募金の配分と県社会福祉協議会の助成金を受け、市内小中学校の福祉教育に助成金を交付する。福祉教育推進に関する「福祉教育担当教諭研修会」の開催、小学校4年生(福祉を学ぶ学年)を対象とした「福祉学習交流会」の開催、全小中学校の訪問、各学校への「ゲストティーチャーの派遣」等に関する調整業務を行う。				
事業報告	<p>●福祉担当教諭連絡会 密を避けるため学校を個別訪問。小学校10校、中学校3校を回り、福祉教育の取り組みなど説明や事例の紹介を行った</p> <p>●依頼があった小中学校へ出向き、地域共生社会づくりに向けて取り組めるプログラムの打ち合わせを担当教諭と綿密に行った</p> <p>●小中学校の授業やクラブ活動へ延べ58名の福祉教育指導員とボランティア、ゲストティーチャー、地区社協コーディネーター、職員等の派遣を行い活動した</p> <p>・福祉の学習と高齢者理解のため、シニア体験、アイマスク、赤ちゃんお世話体験・妊婦体験等の擬似体験を行った。これらを通して「お互い様の関係づくり、人にやさしいまちづくり」を考えるきっかけとした。また、単発な学習ではなく、長期で取り組める内容になるよう、何度も打ち合わせを行い、1年間のストーリーを組み立てるよう学校や地域と連携して取り組んだ。その活動の1つに、サロン見学を行い、自分たちでサロンを企画、プレゼンテーションを行い改良した内容で、生徒主体のサロンを開催し、地域の方々に参加していただき、大変喜ばれた。</p> <p>●学校との年間打ち合わせ回数 25回、年間授業・クラブ活動への支援回数 18回</p> <p>●赤い羽根共同募金の配分を受け市内10小学校、3中学校へ配分した(1校30,000円)</p>				
R4振り返り	福祉担当教諭連絡会は各学校へ出向き個別に前年度の各学校の活動状況報告や紹介、今年度についての打ち合わせ等を行った。学校により取り組む内容は様々だが、打ち合わせを密に行う事により、単発な学習ではなく、1年間通しての学習が組み立てられた学校が多かった。				

生活福祉資金貸付事業



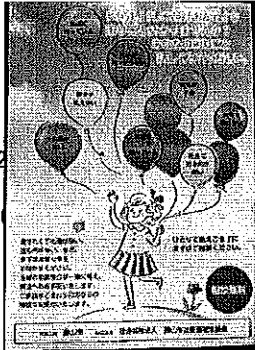
予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業	第1層(全市)
収入(円)	県社協受託金				計
	907,000				907,000
支出(円)	人件費	事業費			計
	524,000	383,000			907,000
事業概要	低所得者や高齢者、障害者の自立した生活を経済的に支えるとともに、世帯の福祉及び社会参加の促進を図る				
事業報告	<p>[生活福祉資金]</p> <p>●貸付相談件数 6件(前年度 相談件数 3件)</p> <p>※生活困窮者自立支援事業担当職員とも連携して相談に対応した</p> <p>●新規貸付件数 0件</p> <p>●償還完了件数 6件(福祉費3件、教育支援資金1件、緊急小口2件)</p> <p>●延滞利子支払免除件数 0件</p> <p>[コロナ特例貸付(緊急小口資金・総合支援資金)]</p> <p>●緊急小口資金 5件1,000,000円 (貸付総額: 47件9,050,000円)</p> <p>●総合支援資金(初回) 0件 (貸付総額: 22件9,740,000円)</p> <p>●総合支援資金(再) 0件 (貸付総額: 3件1,650,000円)</p> <p>●免除申請の相談 2件</p> <p>●債務免除 19件 4,390,000円</p> <p>●債務免除否決 1件 200,000円</p> <p>●貸付に至らなかった相談 1件</p>				
R4振り返り	<p>コロナ特例貸付は、令和4年度に入り減少にはなったものの相談はあった。9月以降は、特例貸付終了により、通常貸付含め相談件数減少。今後は、コロナ特例貸付免除者・免除対象外含め、フォローアップ活動を実践していく。</p>				



小口資金貸付事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営事業	資金貸付事業	小口福祉資金貸付事業	小口福祉資金貸付事業	第1層(全市)
収入(円)	償還金	受取利息	法人より		計
	364,500	2	756		365,258
支出(円)	事業費	貸付金	当期資金収支差額		計
	756	243,500	121,002		365,258
事業概要	当座の資金不足により生活が行き詰った方へ小口で一時資金を貸し付ける				
事業報告	<p>延べ件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ●貸付件数 42件 243,500円 ●返済金 43件 364,500円 ●貸付残のある方 16件 261,000円 				
R4振り返り	<p>貸付と償還を繰り返す方には、生活困窮者自立支援センター相談員と共に関わった。相談時には必ず「収支表を自ら記入する」ことをルール化し、収支に対する「気づき」を促した。返済については丁寧な相談対応に努め、返済額増となった。</p>				

生活困窮者自立支援事業


予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者自立相談支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	11,090,000				11,090,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	退職積立金	計
	9,970,000	737,000	53,000	330,000	11,090,000
事業概要	<p>生活困窮者支援法に基づき、生活に困っている人からの相談を受け、抱える課題を把握し、本人の気持ちに寄り添いながら自立した生活を支える。また、必要な人には計画を立てて支援を実施する。関係機関や市役所内の各部署の連携が図れるように働きかける。困窮世帯へ向けて緊急食糧支援を実施。</p>				
事業報告	<p>生活保護に至らないようにするために生活困窮者に対する「第2のセーフティネット」として、包括的に支援を実施した。また、生活困窮者の早期把握や見守りのための地域ネットワークの構築、働く場を広げていくことに努めた</p> <ul style="list-style-type: none"> ●必要なアセスメント、プラン兼事業等利用申込書(案)を本人と共同で作成、支援調整会議で支援内容について検討、評価を行いながら包括的・継続的な相談支援 <ul style="list-style-type: none"> ・新規相談 22件 ・相談件数 述べ438件 ・プラン作成 11件 ・就労者数 5件 ・生活保護につないだケース 2件 ・必要時に貸付相談へつなぎ 小口福祉資金 7件、生活福祉資金コロナ特例貸付 1件 ・支援調整会議 6回、支援会議 1回 ・食糧配分(歳末助け合い募金備蓄食品・東洋羽毛フードドライブ・セブンイレブン、ダイナム寄贈品など) 多数 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>市民からの寄付米</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>県民生協フードドライブ食糧</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●広報・啓発事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・社協広報誌「社協からこんにちは」R4.11月発行 ・令和4年度保護司会第2期地域別定例研修会 9月22日(木)15:00~ 2名 ・県立大学実習生受け入れ 10月20日9:00~11:00 ・福井大学医学部5年生実習受け入れ 7月8日13:00~15:00 ●関係機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・勝山市要保護児童対策地域協議会実務者会議 <ul style="list-style-type: none"> 5月17日、8月30日、11月14日、2月17日 1名 ・若者等支援機関ネットワーク会議 7月22日 10:00~12:00 2名 ・勝山型生活困窮者支援体制構築会議 <ul style="list-style-type: none"> 8月2日、9月9日、11月11日、2月14日、3月11日 1名 ・県地域定着支援センター窓口紹介 1名 ・県生活困窮者制度意見交換会 12月12日 9:30~11:30 2名 ・県生活困窮者事業説明会 2月9日13:30~15:00 ●相談員の研修 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度生活困窮者自立支援制度人材養成研修 相談支援員養成研修 1名 10月21日(金)10時00分~17時00分 オンライン研修 ・令和4年度生活困窮者自立支援制度におけるブロック別研修 1名 12月22日(木)・23日(金)オンライン研修 ●令和4年度生活困窮者等食糧支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ひとり親世帯130世帯へチラシ配布し、希望者に食料配分を行った。 ・12月21日(水)~24日(土)、26日(月)10~12時/16~18時 ・配分内容:野菜セット、調味料セット 77世帯、米5キロ(市民より寄付物) 67世帯 協力者:主任児童委員8名 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>				
R4振り返り	<p>コロナ禍の影響を受けた方やローンやライフラインの支払いができないという相談、高齢の方や障害を持っている方の相談も多かった。立て直しを図ったが2名の方は生活保護につなげた。</p> <p>就労意欲を引き出し、給与収入を得たり、制度活用を行い、生活基盤を整えた。支援の出口の不足を感じる。</p> <p>制度の周知徹底を行い、生活費がない状態に陥る前に早期発見につなげていきたいさらには、ひとり親家庭(77世帯)へ食糧を取りに来ていただき、対面で話すことにより、家庭状況を確認し、新たに気がかりな家庭を把握することができた。</p>				

生活困窮者自立支援・就労準備支援事業


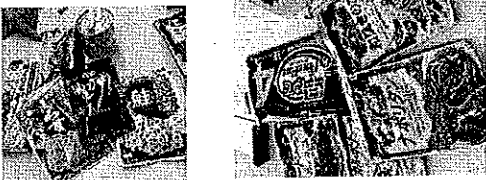
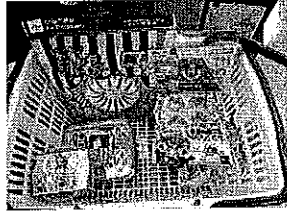
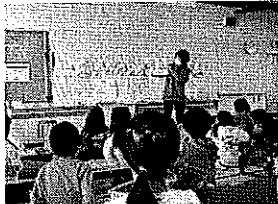
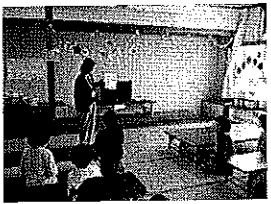
予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	生活困窮者 自立支援事業	就労準備支援事業	就労準備支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	1,840,000				1,840,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	退職積立	計
	1,226,000	215,000	33,000	366,000	1,840,000
事業概要	「社会との関わりに不安がある」、「他の人とコミュニケーションがうまくとれない」など、直ちに就労が困難な方に6カ月から1年の間、プログラムにそって、一般就労に向けた基礎能力を養いながら就労に向けた支援や就労機会の提供を行う				
事業報告	<p>自立相談支援機関のアセスメントに基づき、就労準備支援の必要性がある方が対象となる</p> <p>●アセスメントを行い、就労準備支援プログラム作成、月1回程度の振り返り評価を行いながら1年を基本として実施。 ・支援内容:日常生活自立に関する支援、社会生活自立に関する支援、就労自立に関する支援 ハローワークへの同行、就労後の定着支援、他関係機関との連携など ・就労準備支援室を(金)13~17時開設 ・事業実施 2件</p> <p>●関係機関との連携 ・若者等支援機関ネットワーク会議 7月22日 10:00~12:00 2名</p>				
R4振り返り	<p>作業を通して利用者の特性理解に務め、社会生活を身につけ、働く意欲を持っていただくことで次のステップにつながる事ができた。制度の周知や対象者の発掘等 能力・意欲が低い方へのアプローチ方法を更に探していきたい</p>				





生活困窮者自立支援・家計改善支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	生活困窮者 自立支援事業	家計改善支援事業	家計改善支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	3,600,000				3,600,000
支出(円)	人件費	事業費	退職積立金		計
	3,067,000	200,000	333,000		3,600,000
事業概要	<p>自立相談支援機関において、経済的な問題に背景がある相談者に対して家計の視点から相談支援を行う。家計改善・家計再生プランを作成し、自ら家計を管理する意欲、能力を高め、経済的困窮より脱却できるよう支援していく</p>				
事業報告	<p>自立相談支援機関のアセスメントに基づき、家計改善の必要性があると支援調整会議で検討された方を相談対象とする。</p> <p>●アセスメントを行い、家計再生プラン(案)を本人と共同で作成し、支援調整会議で支援内容について検討し支援決定を受け、約1年間を基本として相談を実施。 ・支援内容:家計計画表、キャッシュフロー表を作成し家計の見える化を行う 滞納(家賃、税金、公共料金など)の解消や各種給付制度利用に向けた支援 債務整理に関する支援(多重債務者相談窓口との連携) 貸付けのあっせん など ＊制度説明・提案 12件 ＊家計再生プラン 4件 ＊再プラン作成 0件</p> <p>●関係機関との連携 ・日常生活自立支援事業 制度紹介3件 ・若者等支援機関ネットワーク会議 7月22日 10:00~12:00 2名</p> 				
R4振り返り	<p>家計改善が必要な方に家計相談を行うことでライフラインの滞納解消や生活費が見える化することで貯蓄ができるようになった方もいた。管理能力が低い方、改善意欲のない方へのアプローチ方法が難しい</p>				

子ども見守り宅食支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	生活困窮者 自立支援事業	生活困窮者 自立支援事業	子ども見守り 宅食支援事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	法人より			計
	300,000	50,000			350,000
支出(円)	事業費				計
	350,000				350,000
事業概要	日常生活において困難を抱えている家庭や、コロナ禍によって経済的に困窮・孤立化を余儀なくされている家庭等に対し、ボランティアの協力を得て食育啓発を行い、それぞれの家庭に楽しみとふれあいを深める機会を提供する。				
事業報告	<p>【事業内容】 かつやまこども"WAKU-WAKU"映画祭開催。 参加した小中学生へ、実行委員より、食に関するプレゼント配布を行った。</p> <p>【実施内容】 ・ 3月18日(土) 13:30~15:00 「ミニオンズフィーバー」上映 ・ かつやまこども"WAKU-WAKU"映画祭実行委員会 第1回:12月20日(火)16:15~17:30 第2回:3月8日(水)16:00~17:30 ・ 食に関するプレゼント(調理器具、食材、レシピ)を渡し、食育の啓発を行った。</p>    <p>【事業内容】 児童センター10か所に通所する児童に対して食育の啓発を行い、チラシを配布した。</p> <p>【実施内容】 3月29~31日 児童センター10か所 登録児童 636名</p>   <p>【事業内容】 生活困窮されている方へ、米備蓄</p>				
R4振り返り	<p>コロナ禍で自粛が続く中、子ども映画祭を企画し参加した子どもへ食に関するプレゼントを提供し、喜ばれた。また、映画祭には勝山高校の高校生、主任児童委員に実行委員をしていただき、協力を得た。 また、映画祭と併せて市内児童センターに通う児童に対しても食育の啓発を行った。</p>				

生活支援体制整備事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	9,616,000				9,616,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	助成金	計
	1,342,000	658,000	56,000	7,560,000	9,616,000
事業概要	助け合う地域づくりに向け関係機関ネットワーク会議の開催、生活支援コーディネータの設置、地域の課題解決の場と新たなサービスを構築をする。併せて、まちなかCaféを核にした支援を考える				
事業報告	<p>【1層の生活支援コーディネーターの活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶一人暮らし高齢者、高齢者世帯の生活支援サービスのコーディネート ▶地域いきいきサポーター養成講座 12月3日 7名受講 ▶地域個別支援 246回 ▶関係機関とのネットワークづくり <ul style="list-style-type: none"> (1)勝山市総務課・地域包括支援センター、民生委員、ケアブレイクかつやま、勝山高校 (2)地域ケア個別会議への参画 年4回 (3)かつやま地域共生運営協議会への参加 9月8日 ▶まちなかcaféの運営(ページに掲載) ▶買物支援体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> 平泉寺地区 買物支援事業「お買い物にいこうよ!」の実施 村岡地区 買物支援事業「地域の人と一緒に買い物に行こう」の実施 ▶市社協主催研修会 <ul style="list-style-type: none"> (1)「サマーセミナー」岡山県新見市への視察研修 11/10~11 21名参加 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> (2)災害ボランティアネットワーク研修 10月21日~3月15日(内6地区で開催) <p>【2層の生活支援コーディネーターとの連携した活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ふれあいサロン、給食サービス、地域ぐるみ雪下ろし事業の実施や取りまとめ ●地区ごとの研修等の開催 <ul style="list-style-type: none"> (1)ご近所福祉クリエイター 酒井保氏 6/17北郷(28名)、6/18勝山(24名)、6/19村岡(30名) (2)県防災士会 立平政勝氏 9/5北谷(14名)、11/16平泉寺(20名)、12/9村岡(23名)、2/24遅羽(14名) (3)にいがた災害ボランティアネットワーク 李 仁鉄 氏 10/21荒土(29名)、10/22遅羽(25名)、11/21猪野瀬(13名)、野向(14名) ●集落単位研修会 年間6回 ●生活支援ネットワーク会議の開催(地区社協コーディネーター連絡会) 年12回 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大野市地区社協との交流会 3月6日(30名) ・坂井市社協生活支援コーディネーター研修会での実践発表 7月22日 ・コーディネーター自主研修 水引細工と笑いヨガ 12月5日 				
R4振り返り	<p>新型コロナの規制が緩和され、コロナ以前の生活に戻つつある中で、地区の活動が再開していく動きを支援できた。コーディネーター会議で、地区間の情報共有を毎月行ったり、防災研修の企画を地区と一緒に企画したりするなど、地域が無理なく活動できるよう、寄り添った支援ができた。</p>				

老人ホームヘルプサービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲																
		介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	老人ホームヘルプ事業	老人ホームヘルプ事業	第1層(全市)															
収入(円)	県補助金	介護保険	利用料	その他の事業	過年度修正益																
	50,000	20,825,666	2,550,872	259,168	27,037																
	前期末残				計																
	1,540,088				25,252,831																
支出(円)	人件費	事業費	事務費	固定資産	退職積立金																
	21,728,910	2,425,703	187,817	0	890,000																
	過年度修正支出				計																
	20,401				25,252,831																
事業概要	介護保険法に基づく訪問介護事業の実施(家事援助、身体介護等)																				
事業報告	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣利用者数</td> <td>438人</td> <td>525人</td> <td>545人</td> </tr> <tr> <td>派遣回数</td> <td>4858回</td> <td>7836回</td> <td>7681回</td> </tr> <tr> <td>稼働時間</td> <td>3352時間51分</td> <td>5114時間17分</td> <td>5148時間20分</td> </tr> </tbody> </table>				年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	派遣利用者数	438人	525人	545人	派遣回数	4858回	7836回	7681回	稼働時間	3352時間51分	5114時間17分	5148時間20分	
	年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度																	
	派遣利用者数	438人	525人	545人																	
	派遣回数	4858回	7836回	7681回																	
	稼働時間	3352時間51分	5114時間17分	5148時間20分																	
	月	内容	特記																		
	4月	令和4年度事業説明 倫理要領と法令遵守について	チェックリストを使いマナーの振り返りを行った																		
	5月	感染予防対策・嘔吐物処理	嘔吐物処理の動画を見て実際に嘔吐物に見立てて行った																		
	8月	災害について学ぶ テントを張ってみよう	災害のため延期となる																		
	9月	手順書見直し・家の見取り図作成	各自作成し、評価																		
	10月	総合防災訓練参加 防災訓練参加報告	県の総合防災訓練に障害者の方の誘導を含めて参加した方の研修報告となる																		
	12月	感染対策リーダー研修報告 防護服の着脱について実技研修	11月に予定していたが、濃厚接触者が複数発生したため12月実施となる																		
1月	認知症について	VR体験にて認知症の方の体験をする																			
2月	障害者虐待・身体拘束について	資料を用いて説明後映像を見る																			
3月	地域の防災を学ぶ	NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク李仁鉄氏のお話																			
3月	一年のまとめ																				
	* 研修の際には伝達会議も併せて実施した																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>外部研修</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月</td> <td>総合防災訓練参加</td> <td>障害者の方の避難サポート</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>感染対策リーダー研修会</td> <td>クラスター対応報告等</td> </tr> </tbody> </table>		外部研修			10月	総合防災訓練参加	障害者の方の避難サポート	12月	感染対策リーダー研修会	クラスター対応報告等	ケア会議参加 49回 ミーティング 30回(月2~3回) サービス提供者会議 11回									
外部研修																					
10月	総合防災訓練参加	障害者の方の避難サポート																			
12月	感染対策リーダー研修会	クラスター対応報告等																			
	※降雪が続き、利用していた駐車スペースが使用不能となったが、県(コンビニ)、市(公共施設)の働きかけでスムーズに駐車し、訪問することができた。																				
R4振り返り	年間通して感染予防に努めた。新しいヘルパーの確保に努め、4名のヘルパーを迎えることができた。また、利用者の自立を目的に身体介護、生活援助を行った。 訪問依頼は朝・夕に集中することが多い。 コロナ禍で、短期で利用終了となる方やコロナに感染したことで在宅生活の継続が困難になる方もおり、利用者が激減した。																				

あんしんサービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲															
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	老人ホームヘルプ事業	あんしんサービス事業	第1層(全市)															
収入(円)	事業収入				計															
	348,415				348,415															
支出(円)	人件費	当期資金収支差額			計															
	150,000	198,415			348,415															
事業概要	施設利用の方が一時帰宅されたとき、または、介護保険対象外の方や、障害サービスで認められてないサービスを希望される方に対して、30分1,000円でサービスを提供する																			
事業報告	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣利用者数</td> <td>44人</td> <td>40人</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>派遣回数</td> <td>338回</td> <td>324回</td> <td>206回</td> </tr> <tr> <td>稼働時間</td> <td>148時間51分</td> <td>153時間07分</td> <td>172時間25分</td> </tr> </tbody> </table>				年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	派遣利用者数	44人	40人	40人	派遣回数	338回	324回	206回	稼働時間	148時間51分	153時間07分	172時間25分
	年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度																
	派遣利用者数	44人	40人	40人																
	派遣回数	338回	324回	206回																
	稼働時間	148時間51分	153時間07分	172時間25分																
<p>支援内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ペットの世話(介護計画に基づく) 衣替え 安否確認(利用者の家族への支援) 通院介助(介護保険報酬対象外の部分) 買い物支援(障害者) 																				
R4振り返り																				
年間通して感染予防に努めた。障害福祉サービスにつながるまでの間の利用や、介護保険では対応外となるサービスについてあんしんサービスを提供した。利用者が生きがいとしてペットを飼育しているが、高齢でペットの世話が十分に出来なくなった。本人の意思を尊重し、本人にとって家族同然のペットの世話をあんしんサービスで行い、本人の生きがいをサポートし続けた																				

介護予防支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	介護保険サービス 事業	介護保険サービス 事業	介護予防支援	予防ケアマネジメント	第1層(全市)
収入(円)	介護保険	前期末残			計
	1,170,420	76,210			1,246,630
支出(円)	拠点区分繰出	階層区分繰出			計
	813,630	433,000			1,246,630
事業概要	介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業に基づく予防ケアマネジメントの実施				
事業報告	<p>・介護予防計画作成数 193件(前年比 +21件) 1件 4,380円 ・総合事業計画作成数 66件(前年比 +15件) 1件 4,380円 (計画作成初回加算 1件 3,000円)</p> <p>令和4年度は職員4名体制で対応していたが、令和2年度に1名の職員が退職した時と比べると、-120件なので、件数的にはさほど増加してはいない。しかし、介護給付の件数が伸びていることから、介護支援専門員の業務量的には変わらないと思われる。</p>				
R4振り返り	<p>コロナ禍であったが、利用者の状態が大幅に悪化するケースはなかった。しかし、事業所の臨時休業などで、常に状況が変化し、その対応に終始追われた。事業所が休業することで、本人や家族が不安な状況下にあったが、支援者として寄り添い続けた。また、利用者自身の状態悪化の予防につながる支援ができた</p>				

介護給付事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	介護給付	介護給付	第1層(全市)
収入(円)	都道府県補助	介護保険	その他の収入	階層区分収入	過年度収入
	40,000	21,183,060	3,000	433,000	10,760
	前期末残				計
	2,253,490				23,923,310
支出(円)	人件費	事業費	事務費	固定資産	退職積立金
	19,958,693	1,990,963	112,654	0	1,438,000
	過年度修正支出				計
	423,000				23,923,310
事業概要	介護保険法に基づき、利用者が、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の選択に基づき、適切な居宅介護支援サービスを提供する				
事業報告	<p>●介護保険計画作成数 1,848件(前年比 +495件) (要介護1~2/1,398件 *ケアプラン作成費 1件:13,850円) (前年比 +519) (要介護3~5/ 450件 *ケアプラン作成費 1件:17,070円) (前年比 -24)</p> <p>●令和4年度は、専従3名、兼務1名の4名、特定事業所加算(Ⅲ)を算定する体制で対応することで、令和3年度よりは増収ではあったが、目標としていた件数的には届かなかった。</p> <p>●要介護1~2のケアプラン作成件数は、大幅増であったが、要介護3以上の件数は減であった。介護度が高い場合の新規件数の場合、短期間で入院・入所・死亡にて、終了することが多かった。</p> <p>●令和4年度は業務のICT化のため、各職員にタブレットを配置したことで、業務時間の短縮・スピーディな対応が出来るようになった</p>				
R4振り返り	<p>コロナ禍で、施設や病院等の面会制限があり、本人と面会することができず、状況がわからない中での対応に苦慮する場面が令和4年度も多くみられた。 利用者の方でもコロナに感染したことで、亡くなった方や、状態の悪化から在宅での生活が困難という事で、入所する方もいらっしやった。また、家族がコロナ陽性者という事で、サービスが利用できないと言う場合もあった。 また、コロナ禍で、事業所の臨時休業や利用制限などが前年同様に頻回に発生し、その対応に苦慮する場面が増加した。</p>				

要介護認定調査事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	要介護認定調査事業	要介護認定調査	第1層(全市)
収入(円)	介護保険受託	前期末残			計
	183,200	14,800			198,000
支出(円)	拠点区分支出				計
	198,000				198,000
事業概要	介護保険法に基づき、要介護認定調査対象者を調査し、市へ調査票を提出する				
事業報告	<p>●介護認定調査件数 54件(前年比 +3件) 1件 3,300円</p> <p>●認定調査時期が集中することなく、月平均4件程度のため、1人のケアマネが月1～2件の調査であった</p> <p>●利用者の状態悪化にて、区分変更する件数もみられたが、大幅な減少なく、安定した件数を獲得することができた</p> <p>●介護保険の有効期間が最大3～4年と期間は長くはなかったが、安定した要介護認定調査件数は獲得できている</p>				
R4振り返り	<p>毎月の認定調査件数が一人当たり1～2件程度であったため、時間的にも余裕をもって調査をすることができた。そのため、今まで以上に余裕をもってアセスメントを取ることができ、適正な調査結果につながった。結果、本人のニーズに添ったケアプラン作成ができた</p>				

身体障害者ホームヘルプサービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲																												
	障害福祉サービス事業	障害福祉サービス事業	身体障害者ホームヘルプサービス事業	身体障害者ホームヘルプサービス事業	第1層(全市)																												
収入(円)	県補助金	自立支援給付費	利用料	補助金	受託事業																												
	25,000	13,852,203	152,454	226,614	91,740																												
	過年度修正益				計																												
	5,547				14,353,558																												
支出(円)	人件費	事業費	事務費	固定資産	退職積立金																												
	9,200,075	983,242	22,819	0	310,000																												
	拠点区分支出	当期資金収支差額			計																												
	447,000	3,390,422			14,353,558																												
事業概要	障害者総合支援法に基づく、訪問介護事業(居宅介護サービス、強度行動援護、同行援護、移動支援)																																
事業報告	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用延人数</td> <td>276名</td> <td>267名</td> <td>254名</td> </tr> <tr> <td>延訪問総数</td> <td>3797回</td> <td>3038回</td> <td>2719回</td> </tr> <tr> <td>居宅介護訪問回数</td> <td>3684回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>通院同行</td> <td>85回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>移動支援</td> <td>12回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>同行援護</td> <td>16回</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>* 内部研修 年間10回(詳細は、老人ホームヘルプサービスに掲載) * 外部研修については、老人ホームヘルプサービスに掲載</p> <p>同行援護 (外出先での支援) 居宅介護支援 ケア会議 37回</p>						令和4年度	令和3年度	令和2年度	利用延人数	276名	267名	254名	延訪問総数	3797回	3038回	2719回	居宅介護訪問回数	3684回			通院同行	85回			移動支援	12回			同行援護	16回		
	令和4年度	令和3年度	令和2年度																														
利用延人数	276名	267名	254名																														
延訪問総数	3797回	3038回	2719回																														
居宅介護訪問回数	3684回																																
通院同行	85回																																
移動支援	12回																																
同行援護	16回																																
R4振り返り	<p>感染予防に努めながら、また感染予防対策として事業所に立ち寄らないようにエルガナを使い情報の共有に努めた。 昨年に引き続き、親が要介護となり、障害者自身が家事を担う立場となって、自分で出来る事が少しでも増える様支援を行った。 また、障害者自身の健康管理にも対応できるよう、受診介助、食生活の助言等を行った</p>																																

障害者計画・相談事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	障害者福祉サービス事業	障害者福祉サービス事業	障害者計画相談支援	計画相談支援事業	第1層(全市)
収入(円)	県補助金	自立支援給付	障害児給付	その他の事業	利息収入
	17,000	3,141,700	937,720	87,700	1
	退職報奨励取崩収入	前期末残			計
	780,649	1,106,440			6,071,210
支出(円)	人件費	事業費	事務費	その他支出	積立金
	5,676,562	377,076	17,570	2	
	拠点区分支出				計
					6,071,210
事業概要	障害児・者の自立した生活を支え、課題解決やサービス利用のケアマネジメントを行う				
事業報告	計画相談支援・障害児相談支援は、11年目。昨年同様に相談支援専門員(兼務者)5名体制で対象者のプラン作成、障害程度区分調査(委託)を行った				
	相談支援給付費				
	[計画作成]	令和4年度	令和3年度	入院時情報加算 6件	
	障害者	49件	44件	モニタリング 1件	
	障害児	22件	25件	初回加算 7件	
	[モニタリング]	令和4年度	令和3年度	認定調査委託17件 (前年度 19件)	
	障害者	153件	166件	単価	
	障害児	29件	28件	1件 5千円～6.8千円	
R4振り返り	コロナ禍で、直接面談しない配慮をし電話、オンラインでの調査、モニタリングを行った。相談支援専門員の不足から、受任の依頼があっても対応できず、断わざるを得ないことが増えた。しかし、市内の他事業所も飽和状態にある。当事業所のみでこの問題を解決するのは困難だが、この、しわ寄せが障害児・者本人に行くことを防ぐため、行政とも真剣に話し合いを重ねる必要がある				

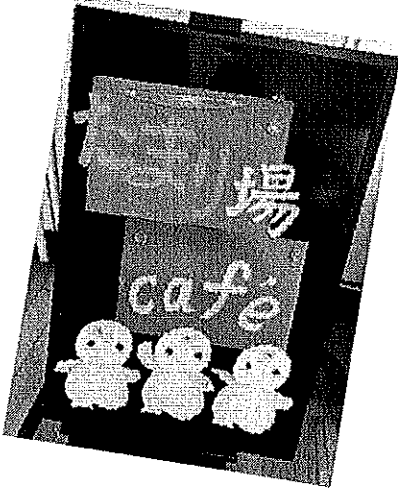
障害者相談支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	障害者福祉サービス事業	障害者福祉サービス事業	障害者相談支援事業	障害者生活支援センター事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	4,720,000				4,720,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	退職積立金	計
	4,337,000	93,000	14,000	276,000	4,720,000
事業概要	障害を持つ方が地域で暮らし続けることを目的に適切な相談と支援を行う。また、奥越障害者自立支援協議会の運営に参画し、新たな資源の開発等を行う				
事業報告	<p>●相談 本人・家族780件、関係機関との相談・調整158件、ケア会議12件</p> <p>●ピアカウンセリング ▶勝山ケース連絡会 月1回(第3水曜日) ▶奥越圏域就労支援連絡会 12回/年 開催 ▶奥越地区障害者自立支援協議会 全体会 2回 運営会議12回 専門部会6回 ▶部会内容 (i)発達障害・教育支援部会 2回 (ii)生活・居住支援部会 2回 (iii)日中活動・就労支援部会 2回 ▶相談支援連絡会 月1回</p> <p>●委託相談支援事業 (i)地域啓発 12/9スーパーかじそ前で活動 (ii)福井県自立支援協議会に参画</p>				
R4振り返り	<p>行政や、他の相談員との情報共有を図るため、毎月連絡会を開催できた。ハローワークとも毎月ケース連絡会を開催。情報の共有ができた。</p> <p>支援内容は、本人だけではなく家族やその背景なども踏まえながら、表面だけの支援にならないよう考慮し、支援を組み立て、対応することができた。また、支援が終了しても、定期的に連絡することで、切れない関係づくりを提供することを目標にR5年度は相談件数1000件を超えたい</p>				



「障害者生活支援センター」のパンフレット

障害者社会参加促進事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	障害者福祉サービス事業	障害者福祉サービス事業	障害者社会参加促進事業	障害者社会参加促進事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	300,000				300,000
支出(円)	事業費				計
	300,000				300,000
事業概要	<p>地域の中で障害を持つ方が生活しやすいように社会参加を促進する事業の展開と、家族や関係機関・地域での障害理解が進み、権利擁護できるように事業を通じて働きかける</p>				
事業報告	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発事業 12月9日 勝山かじそ前にて啓発運動 ・10/8 ジオ・アリーナ 「福井県の総合防災訓練に参加しよう」講座 26名参加 ・3/25 サンプラザ2階センターコート 「火事とお金について学ぼう」 17名参加 ・たまり場café 毎週2回(月・水)13:00～17:00 97日開催 延べ利用者数129名 ・ITサポート相談 随時対応 ・当事者の会の育成 中途障害者「リラの会」、在宅障害者「ふれあいの部屋」支援 ・障害者生活支援センターホームページの運営管理 http://www.katuyama-sk.jp 				
R4振り返り	<p>「たまり場café」の利用者はコロナ禍の影響もあって減少傾向だった。一方で、毎回楽しみに利用される方もおられた。利用者の固定傾向が見られる。たまり場caféの更なる周知が必要と感じた</p>				

勝山市社協成年後見センター「ささえ愛」事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	公益事業	成年後見事業	勝山市社協 法人後見事業	サポートセンター 「ささえ愛」	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	事業収入	受取利息	雑収入	計
	105,000	2,344,000	45	5,000	2,454,045
支出(円)	人件費	事業費	事務費	当期資金収支差額	計
	1,644,224	214,002	22,200	573,619	2,454,045
事業概要	何かしら障害があっても、自分の地域で、いつまでも自分らしく安心して暮らしていくための相談・支援				
事業報告	<ul style="list-style-type: none"> ●新規受任件数 0件 ●終了件数 1件 <p>現在9件(高齢2件、障がい7件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●相談延件数 8件 ●専門相談件数(弁護士、司法書士) 延2件 ●運営委員会 2回開催 R4年7/13 R5年3/22 				
R4振り返り	<p>当社協が受任していた被後見人が、ロングステイを経て施設入所となり、その手続きを行った。その後亡くなり、被後見人の親族との連絡、相続に関することなどの支援を行った。法的手続きも発生するため、専門職にアドバイスをいただいた。施設入所していた方が、長期入院となりその後療養病棟のある病院に転院になったため、その都度手続き等を行った。</p>				



社協喫茶経営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	公益事業	喫茶会計	喫茶会計	喫茶経営	第1層(全市)
収入(円)	売上金	受取利息	前期末残		計
	1,810,585	77	391,660		2,202,322
支出(円)	人件費	事業費	事務費		計
	1,020,522	1,168,150	13,650		2,202,322
事業概要	福祉健康センター「すこやか」利用者の憩いの場として、創意工夫を重ね飲食の提供を行い、経営の安定を図る				
事業報告	<p>営業時間:月～金 10:00～15:00</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p style="text-align: center;">営業中の風景</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>[メニューの一例]</p>  <p style="text-align: center;">カレーライス</p>  <p style="text-align: center;">たまご丼</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;">  <p style="text-align: center;">3番入口外看板</p> </div>				
R4振り返り	<p>会館利用ができないため、一般の利用者がほぼなかったが、主に「すこやか」で勤務する職員の利用で売上につながった。 売上げが減少しないよう「喫茶検討委員会」を開催、お菓子の販売を始めた。</p>				

